

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 130	提案機関名 (社)神奈川県園芸協会(県果樹組合連合会)
要望問題名 保冷庫を利用したリンゴの簡易貯蔵法の検討	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 近年温暖化等の影響もあり、本県のリンゴ栽培面積は減少しているものの、消費者が近いという立地条件を生かし、地産地消に貢献しています。 現在、「シナノゴールド」や「ふじ」などは、収穫後保冷庫で貯蔵し、順次販売していますが、品質保持期間が長くなれば、さらなる高品質化と有利販売が可能となるため、保冷庫と簡易資材などを組み合わせた貯蔵法について、検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部品質機能研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	リンゴの貯蔵は、低温、湿度及びガス濃度などを適切に制御して行われています。また、リンゴではエチレン感受抑制剤である1-メチルシクロプロペン(1-MCP)が農薬登録され、利用できるようになりました。 本件につきましては、現地の状況をお知らせいただき、これらの方法を紹介します。また、必要があれば、普及指導関連部所とともに現地指導に協力します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			